



The Global Enterprise Challenge(GEC) 紹介 現中3～高2対象

NO.66

Global Enterprise Challenge とは多様な視点で既存社会を変革できるアントレプレナーシップ（起業家的行動資質）溢れる人材育成を目指して開催される高校生対象の12時間の国際競技です。



対象は高校生

15 - 19 歳の高校生
であることが参加
条件



チームで戦う

同じ団体に所属する
8 名以下のチーム
で登録



12時間の挑戦

当日出された課題の
解決案を 12 時間以内
に提出



英語はツール

提出物は英語で作
成する事業計画書
と動画



舞台は世界

国内予選で選ばれた
チームが世界大会に
出場

参加資格

- ① 高校生であること（2019年5月時点で15歳～19歳の高校生）
- ② 3人以上8人以下のチームで参加できること。（同じ学校からは最大3チームまで）
- ③ 参加費は1名につき1000円
- ④ 国内予選を通過した場合には世界大会へ出場できること。

競技スケジュール

応募受付：2月22日（金）17時

事前学習会（希望者のみ）：3月10日（日）京都外国語大学にて 9時30分～17時
遠方在住者はオンライン参加も可能

国内予選：3月24日（日）8時～20時

参加チームは、自分達で準備した場所に集合し、オンライン上でチャレンジ（課題）を受け取り、所定の時間までに提出物を入稿します。

08:00 - チャレンジ（課題）の発表

18:00 - A4用紙2枚の事業計画書（business plan）の提出

20:00 - 3分のビデオプレゼンテーションの提出

世界大会出場チーム発表：4月5日（金）

世界大会：5月12日（日）8時～20時

世界大会への出場権を得た代表チームは、国内予選と同じ環境で競技に参加します。

08:00 - チャレンジ（課題）の発表

18:00 - A4用紙2枚の事業計画書（business plan）の提出

20:00 - 3分のビデオプレゼンテーションの提出

世界大会入賞チーム発表：5月22日（水）10時

課題内容

12時間の競技では、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）に則って、世界が共通に抱えるような環境、エネルギー、産業、災害対策、教育、福祉など多岐にわたる問題から課題（challenge）を選び、出題します。

皆さんは、それらの課題解決に対して事業を通じてどのように貢献するか、自分達で具体的な内容を議論し、12時間以内にその事業アイデアを提出物にまとめる必要があります。その際、創造的で革新的なアイデアが求められるだけでなく、その事業アイデアが、技術的に実現可能であるか、事業を始めるために必要な経費はいくらで、それをどのように確保するのか、事業を継続するための収益を得る方法は何か、その実現のためのプロセスやマーケティング方法なども示さなければいけません。

2018年世界大会課題

Propose an innovative business centered on a futuristic means of transportation that uses the latest technologies. You may include technologies that are currently still in the development stage. Your business idea must have a minimal negative impact on humans and the environment. Since you will be presenting your idea to potential investors who are interested in a commercially viable product/service, please identify in detail where and how your means of transportation will be used and who the target users are.

提出物：国内予選・世界大会ともに、12時間の競技では、参加者は、課題が出されから12時間以内に以下のものを英語で作成して提出します。

- A4用紙2枚の事業計画書（Written Report）
- 3分の動画プレゼンテーション(Oral Video Presentation)

審査基準：事前に選出された審査員が、参加者の提出物を見て、下記の点を総合的に評価して入賞者を決定します。

- ・創造性・革新性 - Creativity and Innovation
- ・資金面と製造の実現性 - Finance and Production
- ・顧客ニーズと市場性 - Marketing and Market Research
- ・コミュニケーション能力 - Communication

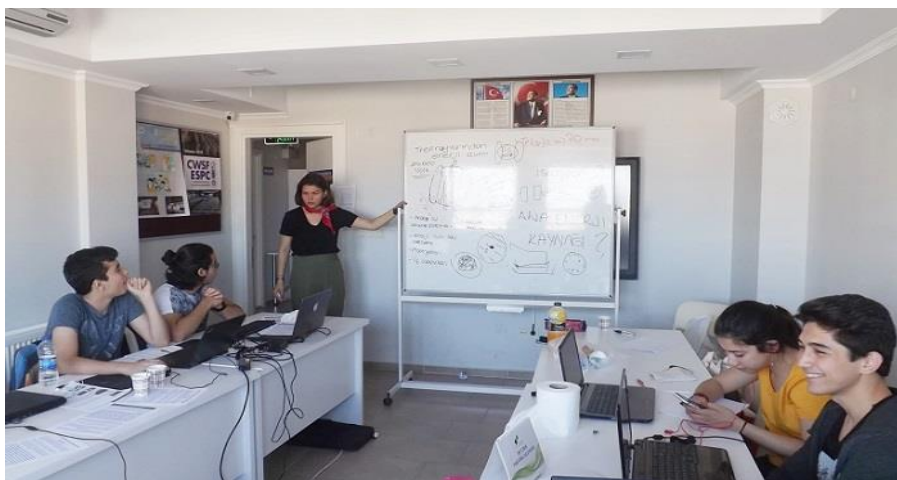
大会についての詳細：Global Enterprise Challenge のホームページをご参照下さい。またチラシが何部か届いていますので希望者に差し上げます。グローバル教育部までどうぞ。

校内申し込み締め切り：2月20日（水）昼休み終了時まで

3号館1階グローバル教育部まで申し出て下さい。金曜日は常駐する担当者が不在となりますのでご注意ください。

保護者の皆様へのお願い：

今回ご紹介した競技には社会人の監督者が付くことが参加条件に入っております。大会当日の活動場所は必ずしも学校である必要はなく、メンバーの自宅に集合して活動することもできます。予選当日も夜遅くまでの活動となるため、保護者の皆様のご協力を仰ぐこともあろうかと思えます。また既にご案内しておりますように現在の3号館の場所に新理科館を建築する工事の関係でグローバル教育部のオフィスも移転することになります。现阶段では詳細は決定しておりませんが、生徒の校内での活動に十分な環境を提供できるか不明な部分もあり、参加応募者が出た段階で保護者の皆様と相談しながら進めてまいりたいと思っております。その際にご協力のほど、どうかよろしくお願い致します。



アスペン・ジュニアセミナー修了報告

学級閉鎖の関係で前号でご紹介できなかった原稿を掲載致します。

古典を読み、語り合う

高校2年3組 村上蓮

若い人にとって読書をする事、特に古典作品を自ら手に取って熟読することは今やもう当たり前ではなくなりました。僕の周りの海城生にも、本をほとんど読んでいないことを何の恥じらいもなく公言する人がたくさんいます。受験のための勉強となるとこれはもうプロフェッショナルで、どこの塾に行くといいのか、どんな勉強法がいいのかを知り尽くし、目の色を変えて取り組むのに本は一切読まない。本を読むことは彼らにとって「鼻持ちならぬ偽善」に思えてしまうのでしょうか。確かに、本を読んでいることに自負を抱き、そうでない人を軽蔑するようなスノビッシュな態度は正しくないかもしれないし、もはや昔と違って市民権を失ってしまっています。しかし古典作品、そしてその根底に流れる哲学的な思想は若い人の心を豊かにし得るものであるし、私たちが日々感じるような悩みのすべては高度に昇華され何らかの作品のモチーフとなっています。それを読まずに低次元な思考に満足するのはもったいないです。

今回僕が参加したアスペンセミナーでは、事前に指定された古典作品を読み、一作品につき二時間弱にわたって関東圏の様々な学校から集まった高校生たちと意見を出し合います。

セミナーで得た最も貴重なもの。それは、真剣に語り合うことのできる読書経験豊富な友人です。読書は基本的に一人で完結するものですが、一人では見ることのできない景色を、皆で語り合うことで見ることができたことに深く感動しました。また、同じ作品を読んでいるのに自分とは全く違う切り口で、しかももっと深い話をする人がたくさんいて、そういった人たちとセミナー中はもちろん、セミナー後も話ができたのはとても幸せでした。

英語4技能試験その後の動向 北海道大学

北海道大学が1月30日に以下の発表を行いました。(一部抜粋)

本学は、英語認定試験を受験することが望ましいとは考えるものの、その活用に関しては、以下のように取り扱うこととします。

1) 2021年度入試(2020年度実施)においては、英語認定試験の受験を出願の要件とはしません。

2) 本学は、上記の入試改革及び外国語教育改革に歩調を合わせつつ、英語認定試験の活用につきさらなる検討に努め、2019年12月までに、2022年度入試(2021年度実施)以降の英語認定試験の活用方針を決定します。